

第42回 たいとうたきぎのう

# 能 新 康 台

令和4年 9月6日(火)

開場:午後4時 開演:午後5時

※開演直前は大変混み合いますので、  
時間に余裕をもってお越しください。

入場料(全席指定)  
S席 5,000円  
A席 4,000円  
(未就学児入場不可)

入場券発売日 令和4年7月13日(水)午前9時より

入場券販売場所

・カンフェティ

WEB <https://www.confetti-web.com/>

電話 0120-240-540 (平日10時~18時)

※セブンイレブンでの発券手続きが必要となります。

※電話購入では、座席選択はご利用できません。予めご了承ください。

・台東区立浅草公会堂窓口(9時~17時)

- ・上演中の写真撮影及び録音、録画は回くお断りいたします。
- ・屋外での開催となりますので、熱中症対策や虫刺され対策を各自でお願いいたします。
- ・マスク等の着用をお願いいたします。
- ・入場時に検温及び手指消毒にご協力ください。
- ・その他感染予防対策につきましてはホームページでご確認ください。

共催:台東区

協賛: どぜう 飯田屋/天麩羅 中清/株式会社 宮本卯之助商店

協力: 金龍山浅草寺/浅草花やしき

会場:金龍山浅草寺境内

(雨天時:台東区立浅草公会堂)

下町・浅草の夜に浮かぶ、幽玄な世界をお楽しみください。

<火入れ式> 木遣り・纏振り 第五區木遣り会

能 ◆橋辨慶 坂 真太郎

狂言 ◆土筆 山本泰太郎

能 ◆葛城 観世 喜正

写真:能『橋辨慶』坂真太郎(撮影:駒井写心職工)

主催・お問合わせ 〒110-0004 東京都台東区下谷1-2-11  
公益財団法人 台東区芸術文化財団

TEL 03-5828-7591  
<https://www.taitocity.net/zaidan/>



第四十二回 台東薪能

令和四年九月六日(火) 午後五時開演  
於・金龍山浅草寺境内(雨天時 浅草公会堂)

〈火入れ式〉 木遣り・纏振り 第五區木遣り会

番組

能

子方(牛若丸) 坂 瞳子

トモ(弁慶ノ従者) 石井 寛人

前シテ 後シテ (武蔵坊弁慶) 坂 真太郎

大鼓 柿原 孝則

小鼓 鷗澤洋太郎

笛 一噌 隆之

橋辨慶

間 (都の者) 山本 泰太郎  
(都の者) 山本 則孝

狂言

土筆

シテ(遊山の者・甲)

山本 泰太郎

アド(遊山の者・乙)

山本 則孝

〈休憩〉

能

前シテ 後シテ (里女) 観世 喜正  
(葛城ノ神)

ワキ(山伏) 森 常好

ワキツレ(山伏) 館田 善博

間(里人) 山本 凜太郎

大鼓 柿原 弘和

小鼓 鷗澤洋太郎

大鼓 小寺 真佐人

笛 一噌 隆之

葛城

附祝言

【演目のあらすじ】 能楽評論家 児玉 信

能『橋辨慶』

武蔵坊弁慶は宿願があつて五條天神へ丑の時参りをしていた。ある日「五條橋で十二、三歳の少年が蝶・鳥のような神変を見せて人を斬りまわった」という噂を聞いた従者が、今夜の参詣をやめるよう注進する。「臆して逃げたと言われては名折れ、退治してくれる」と勇み立ち、薙刀をさぐいて夜更けを待つ弁慶。やがて秋の月が照らす五條橋上に女性と見紛う美しい少年が佇む。

「京の五條の橋の上、大の男の弁慶が…」の歌詞で知られる童謡『牛若丸』そのまま、能舞台に展開します。

狂言『土筆』

佐保姫の筆かとぞ見るつくづくし 雪かき分くる春の景色は―鎌倉時代の歌人藤原為家の歌です。雪解けの土の中から顔を出す「つくづくし」は、春の女神佐保姫の絵筆のようだ、ということです。

野遊びに出た二人の男はつくづくし摘みに興じます。そのうち、つくしを詠んだ歌をめぐって言い争いになり、拳句は相撲で決着をつけることに。

他愛ない喧嘩も春を迎えた嬉しさがなせる業。ほのぼのと楽しいお話です。

能『葛城』

秋の『橋辨慶』、春の『土筆』。冬の『葛城』。『葛城』は、修験の聖地葛城山を背景とする雪の能です。

降りしきる雪に行く先を見失った修験者たちは、ふと現れた里女に導かれて庵に宿をとる。女は火を焚いて修験者たちをもてなしながら、役の行者の咎めを受け葛城で縛られ苦しんだ葛城の神の昔語りをした…。

里女こそ葛城の神の化身です。修験者たちに救済を求め、加持を待たせ姿を消した里女は、やがて女神の本体を現すと清浄で神秘的な舞を舞います。伝説を踏まえた、冷え冷えとして神々しい美しい能です。

終演予定 午後八時

# 台東薪能について

江戸幕府の庇護のもとにあった能楽は明治維新で大打撃を受けます。明治2年、徳川宗家とともに観世大夫も静岡に移りました。混乱のなか江戸に残って能楽を守った一人が初世梅若実です。慶應元年に厩橋の自宅に建てた小さな舞台が復興の拠点の一つになりました(のち篠山藩青山家の江戸中屋敷舞台を移築)。明治8年、上根岸にあった加賀前田家の屋敷に能舞台が作られました。後に染井に移築され長く親しまれます。現在は横浜能楽堂に移築されています。昭和11年、東京藝術大学に邦楽科が設置され能楽も教科の一つになりました。

能楽と台東区とのこうした深い縁があって台東薪能は生まれました。薪能は、本来は春の季語にもなっている神事です。現在は主として、野外の仮設舞台で夜間に篝火を焚いて行われる能の公演を指します。火入れ式、が大きな呼び物ですが、台東薪能では木遣りで火が運ばれるのが他にはない特色です。台東区民が育てて来た薪能を、末永くご支援ください。

(児玉 信)



「過去の公演の様子」撮影：駒井社介



能『橋辨慶』

能楽師シテ方観世流 坂 真太郎

昭和47年、故・坂 真次郎の長男として東京都台東区に生まれる。三世・観世喜之師に師事。昭和50年に初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻を卒業。在学中には「安宅賞」を受賞。平成15年に皇居・桃華楽堂で独鼓「菊慈童」を皇后陛下の御前にて奏演。浅草寺境内での「台東薪能」には、昭和56年より出演。NHK大河ドラマに多数出演。現在、台東区アートアドバイザー、たいとう観光大使、一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。台東区在住。



狂言『土筆』

能楽師狂言方大蔵流 山本 泰太郎

埼玉県狭山市出身。故・山本則直の長男。父及び山本次郎(人間国宝)に師事。昭和51年10月、景英後援会にて狂言「朝猿」の子猿で初舞台。昭和63年、国立能楽堂開場五周年記念にて「千歳」を披く。平成8年11月山本会別会追善公演にて「釣狐」、17年山本会別会にて「花子」を披く。平成22年度第65回文化庁芸術祭優秀賞受賞。平成23年5月、第15回日本伝統文化振興財団賞受賞。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人能楽協会会員。



能『葛城』

能楽師シテ方観世流 観世 喜正

昭和45年、三世・観世喜之の長男として東京に生まれる。2歳半にて初舞台。本拠地の東京神楽坂の矢来能楽堂を中心に、全国各地での公演に多数出演する他、普及活動や講演も多く行なう。慶應義塾大学法学部卒業。公益社団法人観世九皇会理事。公益社団法人能楽協会理事。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、法政大学大学院、皇學館大学非常勤講師。著書「演目別に見る能装束」(淡交社)、DVD「スピカろうそく能」(日本伝統文化振興財団)ほかの主演・作成・監修。

## 会場周辺案内図



## 金龍山浅草寺境内 台東区浅草 2-3-1

### アクセス

- 東武スカイツリーライン：浅草駅より徒歩 約5分
- 東京メトロ銀座線：浅草駅より徒歩 約5分
- つくばエクスプレス：浅草駅より徒歩 約10分
- 都営地下鉄浅草線：浅草駅A4出口より徒歩 約10分
- 都営バス：浅草雷門より徒歩 約5分
- 台東区循環バス北めぐりん(浅草回り)：二天門、浅草寺北より徒歩 約3分

●会場入口は浅草寺境内観光バス駐車場側となります。

※会場には駐車場がございません。お車は雷門地下駐車場等をご利用ください。(7時~23時 200円/30分)

### 雨天の場合

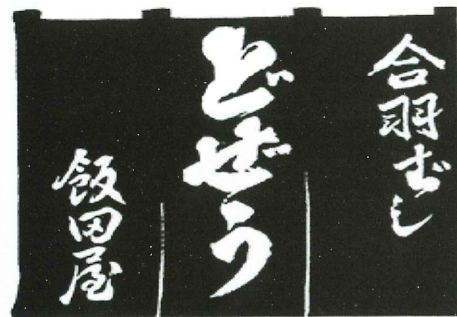
- 雨天の場合は台東区立浅草公会堂(台東区浅草1-38-6)にて行います。
- カンフェティで購入された方  
会場変更決定時に限り、午後2時30分より浅草公会堂にて、入場券に記載されたブロック・座席番号に対応した公会堂座席指定券配布をいたします。※先着順の配布ではございませんのでご注意ください。
- カンフェティ以外で入場券を購入された方  
購入時に公会堂座席指定券をお付けしております。雨天時は引き換えの必要はありません。
- 途中降雨による中止の場合でも、能「橋辨慶」終了後は払戻しいたしかねますので、予めご了承ください。

## ご来場の皆様へのお願い

- 未就学児のご入場はお断りいたします。
- 上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。
- 屋外での開催となりますので、水分補給等の熱中症対策や、虫よけスプレー・長袖の衣服の着用等の虫刺され対策を各自で行なっていただきますようお願いいたします。
- 会場では熱中症対策としての飲み物を除き、飲食はお控えください。

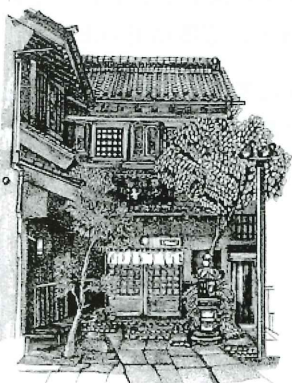
## 【感染予防対策について】

- マスク等の着用をお願いいたします。
  - 入場時に検温及び手指消毒にご協力ください。
  - 発熱(37.5度以上を目安)がある方、体調不良の方はご来場をお控えください。
- ※詳細についてはホームページをご確認ください。



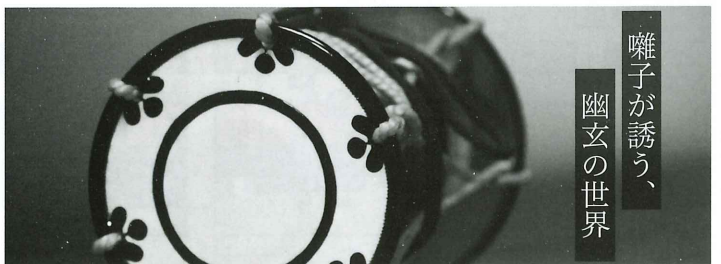
磨き込まれた籐敷に  
胡座をかいて  
“どぜう鍋”  
一刻文豪気分です。

〒111-0035 東京都台東区西浅草3-3-2 合羽橋本通り 電話：(03) 3843-0881  
営業時間：午前11:30~午後9:00 (水曜日定休)



台東区浅草一ノ三九ノ一三  
(浅草公会堂前)  
電話(三八四)四〇一五(代)  
<http://www.nakasei.biz/>

天麩羅 中 清



幽玄の世界  
囃子が誘う、

この国の佳き伝統とともに  
宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売  
[www.miyamoto-unosuke.co.jp](http://www.miyamoto-unosuke.co.jp)